

文芸

〔短歌〕
○花虻を日がな一日遊ばせて牡丹の花は今盛りなり
野原 きよ(昭 和)

●荒磯吹く鹿島の風を掴むがに発電車は倦かず回れる
木野内清太郎(神 宿)

●フェルトの野菜果物アンパンマン二歳の孫の玩具は安全
河野 久子(昭 和)

●新緑の風のそよぐを見つめつつホームの叔母は和やかに笑む
中島三千代(桜の郷)

●鈴蘭の北の大地を思い出す移し植えたる我が家に香る
萩谷彰一郎(長 岡)

●無尽蔵に雲湧き上り郭公と蛙の声援受けて田植す
田口すい子(南川又)

●五百余の藤の花房長くして紫淡く静まりていぬ
鶴町あい子(常 井)

●タンポポの綿毛居心地定まらず風に吹かれてまた飛んで行く
清水 操(馬 渡)

●白百合もグラジオラスも白づくめ白きドレスをまとうごとくに
岡山 一二(上石崎)

●何気なき言葉を交わし髪を切るのなりわいは我が天職なり
浦井 正子(琴ヶ崎四)

(評)野原さん―五月に咲く牡丹・芍薬は中国の原産で、花の女王さまと言われてのこと。日本でも大形の美花は観賞用として作られている。上の句の表現がびつたり。虻だけでなく作者も短い言葉の中に楽しみ

○じゃんけんの拳が掴む初夏の風
道川 たい(南川又)

●語尾あがる茨城弁や藤の花
中島三千代(桜の郷)

●青芝に弾む力のありにけり
野原 きよ(昭 和)

●訪ね来し風土記の丘や五月晴
鶴町あい子(常 井)

●あり余る力
木野内清太郎(神 宿)

●鏡田に幟映して田植かな
田口すい子(南川又)

●白鳥の飛び立つ如く孫嫁
海老沢ミユキ(前 谷)

●畦草の茎葉に梅雨の色を見る
岡山 一二(上石崎)

●山路ゆく小綬鶏あまた子を連れて
清水 操(馬 渡)

●サザン聴く湘南想いハンモック
西連寺元子(南川又)

(評)道川さん―自分のことでも、子どもたちの遊んでいる様子でも、どちらでもよい。じゃんけんの拳は、初夏の風をつかむように、しっかりと手を握って出している。中島さん―茨城弁の持ちようを言い得て、その場の雰囲気をかもし出している。野原さん―青芝の感じは正にこのとおり。鶴町さん―五月晴の好天気は昔から同じだっただろう。木野内さん―藤の蔓の力強さ。田口さん―五月の風が心地よい。西連寺さん―多面的な内容をよくまとめた。

作品の送付先
ハガキ等に3首、3句以内を書いて、住所氏名明記の上、月末までにお送りください。
郵便：〒311-3192 茨城町小堤1080 茨城町まちづくり推進課行き
FAX：029(292)6748
【問合せ先】まちづくり推進課 ☎(240)7126

平成25年度茨城町職員採用試験のお知らせ

【試験区分・募集人数】

事務職(大学卒)	10名程度
事務職(短大・高校卒)	若干名
事務職(身体障がい者対象)	2名程度
技術職(水道)	1名程度
免許資格職(保健師)	2名程度
消防職	2名程度
消防職(救急救命士)	2名程度

【受付期間】
平成25年7月1日(月)
～平成25年7月31日(水)

※詳細については、町ホームページ・広報紙(お知らせ版6月15日号)又は総務課までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
総務課 ☎029-240-7125(直通)

「国勢調査」をかたる不審な電話にご注意ください。

県内で「国勢調査」をかたる不審な電話がありました。国勢調査での電話による問合せなどは現在実施しておりません。国勢調査をかたって、家族構成、年齢、資産状況などを電話で聞き出そうとすることは不正な行為ですので、一切回答されないようお願いいたします。

統計調査をかたる不審な電話や訪問がありましたら、県庁統計課又は茨城町地域産業課までお問い合わせください。

【参考】
「かたり調査」とは、国勢調査などの統計調査を装って、世帯の情報を電話等で聞き出す不正行為のことです。このような行為に対して、統計法では罰則規定を定めています。なお、平成25年5月現在、国勢調査は行われていません。前回の調査は平成22年10月に実施済みであり、次回は平成27年10月に実施される予定です。

【問合せ先】
茨城県 統計課 ☎029-301-2649
茨城町 地域産業課 ☎029-240-7124

おじやかニュース

健康増進課(保健センター)
内線 420～423

肺の生活習慣病COPD(慢性閉塞性肺疾患)

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」あまり耳慣れない名前かと思いますが、いま世界的に増加しており、たいへん注目されている疾患です。肺気腫や慢性気管支炎など、肺に空気が通りにくくなる病気の総称で「有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患」と定義され、その有害物質とは主に煙草の煙です。日本でもCOPDにより亡くなる方は増加傾向であり、年間約15,000人が命を落としています。

この病気は、潜在患者を含めると約530万人の患者がいるといわれていますが、治療を受けているのはわずか3.3%です。つまりCOPDを見逃している人が多くいると考えられます。症状進行したときの苦しさを「肺でおぼれるよう」と表現される恐ろしい肺の病気ですが、禁煙をすることで予防・治療に効果があるとされています。下記のような症状がある方は、ぜひお医者さんに相談しましょう。

- こんな症状にご注意!
- ① かぜをひきやすい
 - ② せきや痰が続く
 - ③ 息切れがする
- 危険因子は主にタバコ! COPDの原因
- ① タバコ
 - ② 喫煙の習慣者
 - ③ 受動喫煙者
- ・以前タバコを吸っていた人
- ② 大気汚染
- ③ 職業上の粉じんの吸入

日	曜日	事業名	受付時間
2	火	特定健診(16.17.20.26日も実施)	9:00～11:00 13:00～14:30
3	水	総合健診	7:00～11:00
5	金	乳児健康診査	13:00～13:30
9	火	1歳6か月児健康診査	13:00～13:30
10	水	健康相談	9:00～11:30
19	金	ごっくん教室	9:45～10:00
23	火	3歳児健康診査	13:00～13:30
30	火	特定健診(夜間)	17:00～19:00

奥様レポート

No.253

スポーツに親しみつつまでも元気!

「いつまでも寒いね。」が合言葉のように、なかなか天気が定まらなかつたこの年、この先どのような時代をむかえようとしているのでしょうか。さて、子どもたちも少なくなり、学校の統合が計画されています。そんな中でも町のスポーツ少年団は十三団体が活動しており、スポーツをとおして子どもたちの「心と体の成長」を促進しています。小学校体育の「手軽にできる室内競技」としてソフトバレーボールが選択科目に指定されていますが、ご存知でしょうか。ソフトバレーボールは、ゴム製のやわらかいボールを使っており、敵味方が入り乱れるようなこともないので怪我が少なく、またチーム戦ですの「思いやり、助け合い」が大事な競技です。

上野合小学校PTAの球技大会でも、昨年ソフトバレーボールを取り入れ、保護者も一緒になって汗を流しています。このように、ソフトバレーボールは徐々に浸透していつているようです。そこで、茨城町のソフトバレー連盟の会長さんを訪ねてみました。ソフトバレーボールは26年の歴史

があり、茨城町内での愛好者も増加傾向にあるそうです。現在は五つの中学校体育館を利用し、若い人から年配の方までわけ隔てなくプレーを楽しんでいます。試合を行う事を目的としたチームもあれば、フリーで楽しんでいる方もいるなど、茨城町ソフトバレーボール連盟では「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」をスローガンに日々活動をしています。また、茨城町のチームはレベルも高く、各大会において優秀な成績を残しているようです。

全国では、八十三歳の方までプレーを楽しんでいるとのこと。このような話を聞いていると、どんな時代がこようとも、元気に乗り切っていける、そんな気がしましたね!



レポーター 平野 けい子